

# 健康教育

- ☆ 今、なぜ子育てか 岩佐 教之 ..... 2
- ☆ 子ども達の遊びのお城として期待の大きい児童館が、  
21世紀にむけて、さらに子ども達に夢を与えるため、  
何をしたらよいか 坂本 仙之介 ..... 5

スキーを楽しむ子どもたち

福島県喜多方市立関柴小学校



no 110



## 今、なぜ子育てか

児童劇作家  
教育評論家

岩佐教之

### はじめに

教育のゆがみを象徴するような痛ましい事故が次々とマスコミを賑わし、教育の荒廃が深刻化しているといわれている現代、子どもの非行・登校拒否・性犯罪などの報道が悲しいかな日常茶飯事の如く後を絶たない今日このごろである。そうした事件が発生するたびに、学校教育に問題がある・いや教師の資質の低下が原因・やっぱり家庭の基本的しつけが悪い……等々の評論家や学識者の意見がブラウン管やスピーカーを通して述べられ、また各新聞の投書欄もあらゆる人々の意見や評論で紙面が埋められる。

こうした混沌とした世の中が、一体いつまで続くのだろうか。21世紀を担う大事な子どもたちの、健全なる育成はどうなっているのか、個性豊かな人間形成のスローガンは空念仏にすぎないのか。こうした現状を考慮するとき一抹の不安を感じている人々も多いのではないだろうか。

中には、いや問題を起す教師や子どもたちはほんの一つまみなのだから、あれやこれやと騒ぎたてることはないとの意見も聞こえてくる。たしかに、学校教育がどうのこうのと言われても、堅実な学校経営で大きな成果をあげている学校も多く、また子どもたちのために寸暇を惜しんで活動し、信頼されている教師たちも大勢いることも周知のとおりである。

ここで考えなければならないのは、教師の資質を問うとともに、子どもたちの《人間性》についても厳しい眼で見つめる必要がある。その人間性を培う子どもたちにとって一番影響力のある親の『子育て』についても、こうした時期であるだけに見逃してはならない問題点として受け止めなければならない。

三つ児の魂百までの諺の如く、家庭における幼児教育の歪みが、青少年の犯罪や非行の遠因になっているケースも多いとされている。テレビである小児科医が「近頃の赤ちゃんは、昔のように泣かなくなった。」と訴えていた。泣く子は育つと言われるように、元気な赤ちゃんほどよく泣くものである。赤ちゃんが泣くという表現は、生きている人間としての意思表示なのである。静かになったということは、聞き分けがよくなったということではなく、意思表示が希薄になったということにほかならない。その原因として小児科医は、「母乳で赤ちゃんを育てる母親が減ったために、母と子の肌のふれあいが薄れたためではないか。」と歎いている。

幼児期からテレビに子守りを委ねている弊害が、孤独に慣れさせてしまっているのかも知れない。静かで聞き分けの良い子にこしたことはないが、自己主張のできない子では、将来いろいろな人との人間関係を生み出すための大きな障害になることは明白である。

そこで、親のあり方を中心に『今、なぜ子育てか』を考えてみたい。

### 子育て論の花盛り

「人間は、一番最初に出会った教師（母親）と一番最初に出会った教室（家庭）の善し悪しで定まる。」と言われている。この人間としての最初の出会いから「親」としての『子育て』が始まるわけである。

善し悪しで定まるとは、勿論断定的なものではなく影響力と考えてみたらよいだろう。人は環境の子という言葉どおり、私たちは自分を取り巻く諸々の環境に支配されて、生き方や考え方が定まるといってもよいだろう。だから、この世に生を受けた赤ちゃんにとつ

て母親の影響力は絶大なものなのである。勿論、父親の影響力も忘れてはならないが・・・この影響力のあるふたりが、子どもの「親」として協力しながら営む作業が『子育て』なのである。

さて近年、書店には子育てに関する出版物が氾濫している。〇〇子育て論・××子育て学・頭の良い子を育てる・勉強の好きな子を育てる・はては非行を育てる・・・まで、これでもかこれでもかとばかり新刊本が次々と店頭を飾っていく。マスコミも、非行と子育てオンパレード。こうした現代社会の中で、若い母親たちは育児のための心理学や教育学など、さまざまな情報を手に入れて、それをそっくり吾が子に適用しようと躍起になっている。

「親」としての体験のない親は、情報が唯一の手がかりなのである。情報過多の時代には、必然的にその情報を処理する能力がのぞまれる。吾が子に即した情報を適用しなければ、子どもにとっては迷惑この上ないものになる。こうした親に多い例として「しつけ」の方法論だけを鵜呑みにして、親と子の一番基盤となる「信頼関係」を二次的なものに置き換えてしまっている傾向もみられるのである。それは、親子だからという安心感からかも知れない。

親子だから、心が通じ合うのが当然と信じている人は意外に多いものである。たしかに、〈以心伝心〉という言葉はあるが、果たして多くの親子の信頼は絶対なものであるだろうか。世論の渦を巻き起こしている教育の荒廃も、煎じつめれば親と子の信頼関係・そして教師と子どもの信頼関係の欠如にその要因があるように思えるのである。

## 親と子の信頼関係

親と子の信頼関係は、まず赤ちゃんの時代にその基盤がつくられるという。母親に抱かれて母乳を呑む時に、その関係が生まれる・・・それは赤ちゃんが、単に母乳を呑むという本能的な行為だけでなく、母親の心臓の音を聴きながら育つからだと言われている。父親が抱いて眠らせようとしてもなかなか眠らない子が、母親に抱かれるとすぐに眠ってしまう。これは、父親と母親の心音の違いだと心理学者が述べている。母親の胎内にいる時からの、聴き慣れたリズムであるための安心感であろう。

ところで今の子どもたちは、電力会社と冷凍食品会社とミルク会社に育ててもらい、親がそこに金を送っているだけと論ずる人もいる。こうした間接的な養育

の形では、親子の信頼関係が育ちにくいわけである。

赤ちゃんを、親から離して育てた方が良いとする育児法が海外から紹介されたのが、1960年代。その当時添い寝中の母親が、赤ちゃんを圧死させる事件が何件が発生した。それがきっかけとなって、その育児法がかなり普及したと言われている。だが今日では、欧米諸国でも日本でも母親は赤ちゃんと接触するのが良いという考え方が、主流となっている。

乳幼児期に、スキンシップで母親の温かいイメージを心に刻みつけた子どもは、情緒が安定し自発性も伸びる・・・したがって、子どもが甘えて身体の触れあいを求めてきた時は、できるだけ一緒に遊び十分に甘えさせる必要がある。母親を求める気持が非常に強い時期は、1歳半から2歳半にかけてといわれるが、思春期の前までこのスキンシップは、人格形成に影響するようである。

親と子の信頼関係は、大人に至る精神発達の過程で特に重要なポイントと考えられる。その中では、父親の役割も大きい。しかし、最近は家庭における父親の存在感が薄れてきていると言われている。この傾向は仕事人間の父親たちが、『子育て』は母親まかせにしているからで、何か問題が起こってからあわてて「父親の出番ですよ〜」では間に合わないのである。これでは、ふたりが協力して営む作業に反することになり「子どもは、父の背を見て育つ」という折角の影響力を放棄することになる。子どもに、社会的なルール・世の中の仕組み・その中で一人の人間としてどう生きるかを、日常生活の中で自然に教え込んでいくのは、父親をおいて他にはいないのである。

性非行は人肌のぬくもりを求めてのものだと言われ暴力非行は、自らのエゴを腕力で貫徹しようとするエゴそのものである。最近激増一途の登校拒否は、社会生活の何たるかを知らない最たるものである。そうした諸々の教育の、基礎づくり・土台づくりは家庭教育特に父親を中心とした家族の力にあると言えよう。

## 親としての自信

子どもを「甘えさせる」ことと、「甘やかす」ことを混同している親も多い。子どもが金銭や物を欲しがる時に、その言いなりに与えることは「甘やかす」である。今の子どもは、何でもお金の換算する傾向が強い。消費生産をみても、どんどん子どもの領域が拡大されて、テレビのコマーシャルなども、子どもに商品イメージを高めさせようとする傾向が顕著である。お金

さえあれば・・・という意識を、大人と同様に子どもが持っている今日言いなりに与えることは、決して親の愛情ではないことをこころししなければならない。

子どもが、水を欲しそうだと思って運んでやるよりも、欲しい時は自分でコップに水をくませることの方が大事なことは言うまでもない。何もかも与えて、子どもが常に満足しているから、吾が家の親子の信頼関係は大丈夫だと一人合点している親も多い。子どもにがまんさせる・耐えさせることの重要性を考え直すことが極めて大切なことである。

また、自分が子どもにどう見られているか、子どもに嫌われたら困ると気にしている親も意外に多いものである。親としての《自信》を無くして『子育て』はできない。人間関係の乏しい親は、自分の子どもだけを見つめ過ぎ、面倒みが良すぎて過保護になりがちでもある。幼児期から過保護に育てられ、そのために実際の学校生活では、自分の考えを応用できず集団にとけこめない。友達にいじめられたことが一つの契機になって、学校嫌いになりずると家に閉じこもってしまう。こうして登校拒否になるケースを、数多くのデータが示している。

親としての、『子育て』に対する《自信》の無さから、子どもが犠牲になっていることすら気づかないようなら、子どもの信頼を失ってしまうであろう。

### 子育てと子離し

ある女性評論家が、「日本人は、お腹を痛めたということを、過大に意識しすぎる。産むことよりも、育てること・・・子どもを自分で産んだから可愛いのではなくて、育てたから可愛いのだ。」と、論じている。それは私も全く同感である。産むことも大変であろうと思うが、育てるということはもっともっと大変なことである。「生みの親より育ての親」の言葉も、それを指しているのではないだろうか。

赤ちゃんは、母親の語りかけから人間としての学習を始めて、少しずつ成長していく。そして周囲の人たちの言動を注意深く見ながら育てていく。そして、やがて自分自身で親を乗り越え、一人前の社会人としての自己形成を果たしていくわけである。

ここでもう一度こころしておく必要のあることは、子どもは家庭の中で、親のすることをよく見ているという点である。特に幼児期には他の世界を全く知らない・・・親のすること一つ一つが手本となり、疑問を持つことも批判をすることもなく受け止めてしまう。親

の影響力が人間形成の基盤づくりに即つながってしまうという事実を忘れてはならないことである。

「あなたは、何の目的のために『子育て』をしているのですか？可愛いからですか、親としての責任からですか、まさか将来面倒を見てもらうためではないでしょうね・・・」と、PTA等で話す時に必ず質問をしてみると、ほとんど答えが返ってこない。ズバリその目的を言えないことは、なりふりかまわずただ夢中で子どもと接しているからかも知れない。

子どもは、生まれると同時に一人の人間として、一つの人格をもって育っていく。その成長の一時期を《親の家庭》という場で過ごすわけで、巣の中で生まれた雛がやがてこの巣から飛び去るように、子どももたくましく独り立ちしていくのである。即ち『子育て』とは『子離し』のためにあるということ、を、しっかりふまえる必要がある。社会に出た時に、社会生活に適應できる生き方や考え方を育てるのが、一番大事な目的なのである。と同時に、これが真の親としての願いののではないだろうか。

### おわりに

子どもが親を必要とするのは、一生の内でもごくわずかの時間である。いつまでもかかわりたいと願い過ぎて「親離れ」のできない子、「子離し」のできない親になって、悩むケースも多い世の中である。

夫婦であれば、離婚とか別居とかでその関係を解消することができるが、「親子」の場合はそのきずなを絶対に絶つことはできないのである。「良い子」であろうと「悪い子」であろうと、吾が子は「子」であり自分はその子の「親」である。その関係は一生変わらず、その事実からは永遠に逃れることはできないのである。そのためにも、親子の信頼関係を大切にしながら、温かく・厳しく子どもを育てることこそが、真の『子育て』ではないだろうか。

はきだめに えんどうの豆咲き

泥池から 蓮の花育つ

人皆 美しき種子あり

明日 何が咲くか

いかなる世の中の荒波にも、それを乗り越える強靱な精神力と、新しい事柄にチャレンジする創造力を兼ねそなえ、人を愛し人からも愛されるすばらしい人間を《自信》をもって育てて欲しいと願って、あえてもう一度『今、なぜ子育てか』を考えていただきたいものである。



# 子ども達の遊びのお城として期待の大きい児童館が、21世紀にむけて、さらに子ども達に夢を与えるため、何をしたらよいか。

石川県金沢市立城北児童会館

館長 坂本 仙之介

## 1. はじめに

「おねえさん、こんにちは、一しょに遊ぼう」と、カン高い声が出たかと思うと、一団の小学生がとびこんでくる。下校すると、すぐ集まってくる子らである。事務室に顔を出す子、一輪車に乗る子、「上手になったから、この次、検定を受けよう」と意欲満々の子、伝承遊びの羽根つき、コマ廻しを競いあう子らで館内は急に賑やかになる。

9時30分に開館して閉館の17時まで、多くの子どもやおとなの方が自由に出入りし、好きな遊びに興じたり、幼児を遊ばせたり、併設の市立図書館の城北分館で読書するなど、うまく活用されている。

来春、10周年を迎える私たちの児童会館は、これからの時代の子どもの達や若い親のニーズにこたえ、お年寄りとの心のふれあいをもち、自然とも親しみ、国際交流を図るなど、活力に充ちた企画を進め続けていきたい。

## 2. 遊びは子どものご飯

児童会館は、自分達の遊びのお城だときめこんでいる子が殆ど。顔を紅潮させ夢中に遊んでいる子らに、誰がどんなに大きな声で呼びかけても耳には入らない。息がきれる思いをするまでは休もうともしない。遊びは、子どもの成長には大切な栄養なのである。

○ 一人で来る子には友達がない。厚生員と遊ぼうとし、厚生員はその手助けから始める。次は、仲間づくりの手伝いになる。

○ 仲間と来る子は、遊びの目的をもっている。一つの遊びが単調になってくると、

- ① 遊びのルールをかえる。
- ② 別の遊びにチェンジする。
- ③ 思いもしない遊びを創りだす。
- ④ ガキ大将があらわれ、遊びの群の親密さが増す。遊びを知らない子は、友達づくりも下手である。遊

びと仲間こそ、子ども達の成長には不可欠の要素である。



下校して、すぐ集まってくる子ら（会館正面）

## 3. 子どもに視点をあてた年間計画

昭和56年の開館以来、今年の11月で69万人を越そう。毎年、立案する年間計画は、

### ○ 内容

- ① 子どもを中心においたもの
- ② 親子、3世代のふれあいをもつもの
- ③ 国際交流の機会を尊重したもの

など

### ○ めあて

- ① 遊びのくふう
- ② 元気なからだづくり
- ③ 手づくりの奨励
- ④ 読書に親しむ
- ⑤ なかまづくり

### ○ 今年度の年間計画（一部）

		平成2年度 日曜行事年間計画											
		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月				
城北こども会	ヒタフアン				城北こども会	児童館フェス	学園祭			親子で			
	ひんぱくランドシリーズ(15日)		サマー2日	(18日・19日)	4～5日	122・23	児童館フェス	親子祭(21日)		べつたんこ2日			
山崎見学	三世代サマーフェスタ			25日		おとしより会の交流会	15日			年賀状づくり	7日	親子祭(21日)	
	「にであ」			親子バス				親子祭(21日)	親子祭(21日)				
				歳旦 7日						しめ飾り作り	25日	12月31日	
					おとしより会 福町見学	25日						7月8日・16日	



子ども達は、遊びを発展させ、長時間楽しんでいた。「遊びの感覚」は、学校の勉強では学べないものの一つであろう。

## 7. 新しい時代の要請にこたえる

○ 核家族化・少子化・都市化の進行に伴い若い母親の育児に対する不安が大きくなってきている。この解消のため、親と子の「こあら教室」を開設、運営してきた。(月3回。午前中)

この教室が歓迎されることは、

- ① 親同士の友達づくりができ、何でも話し合える。
- ② 子ども同士も友達ができ、いろいろの遊びを覚えた。
- ③ 子育てに自信がもてるようになった。

また、芝生広場での「運動遊び」を取り入れることにより、教室以外の親子も自由に参加でき、人気抜群。



お母さんとミニカー作り  
(こあら教室)

### ○ 母親クラブの組織

簡単にいえば、学校の育友会的存在。児童会館を利用する子らの健全育成を援助し、クラブ員同士が自主活動を行う。

#### ① 協力活動

児童館が行う企画に参加し協力する

#### ② 自主活動—趣味と仲間づくり

- ・こあら教室
- ・卓球教室
- ・エアロピクス教室
- ・ヨガ教室

## 8. 国際交流

全国の市町村での姉妹都市を希う動きが、とみに盛んなようだ。

「国際化」「国際理解」の声は大きく、尊い体験を通して身につけたい。今年7月、イルクーツク市の少年使節団を迎えて「サマーフェステ」を企画、児童館の子らと交流を深めた。

- ① 子どもらは、表情・行動ですぐ融和
- ② それぞれの演出により、友情の高まりを感じる。
- ③ 握手・拍手・手づくりの交換で再会を約す。
- ④ 予想以上の思い出になったという感想。

一国の平和でなく、世界のひとしい平和を願う人間としての成長を期待したい。



国際交流—少年・少女ら  
イルクーツク

## 9. 「さよなら、また明日、待ってるね!」

児童厚生員は、児童会館の顔である。子どもにとっては、遊びの仲間であり、援助者である。

閉館しても、すぐ家路につかない。会館の正面のシンボル・モニュメントに上がって、明日の遊びの相談に余念がない。

「気をつけて帰るんだよ」と帰途につく厚生員の言葉に、重い腰をあげた。

私達は子ども達にとっても親にとっても魅力のある児童会館をもとめつづけている。



モニュメント上での一服

## 10. おわりに

子どもをとりまく社会的環境は極めて厳しい時、児童の健全育成の中核である児童館は、遊びを通して、ますます心身の健康を増進させ、情操豊かに成長することを願いたい。

新しい世紀にむけて

- ① 地域との連携
- ② 開館時間の延長—春・夏休みなど
- ③ 年長児童育成への対応
- ④ 移動児童館の実施
- ⑤ 中枢児童館としての役割の遂行—(金沢市内の小型児童館は23館)

などを掲げ、これからの子ども達のニーズにこたえていきたい。

## 年齢別運動能力テストの結果(平均値)

年齢	50m走(秒)		走り幅とび(cm)		ハンドボール投げ(m) (小学生はソフトボール投げ)		懸垂腕屈伸(回) (小学生及び女子は斜懸垂腕屈伸)		持久走(秒) (男子:1,500m走 女子:1,000m走)		ジグザグドリブル(秒) (小学生のみ)		連続さか上がり(回) (小学生のみ)		運動能力テストの合計点(点)	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
10	9.20	9.41	293.82	269.08	28.37	16.53	28.36	25.89			19.12	20.61	4.06	4.16	44.86	46.33
11	8.79	9.06	317.47	286.13	32.97	19.08	28.41	23.80			17.40	19.12	4.24	4.17	56.37	55.07
12	8.40	8.89	346.51	300.04	19.94	14.08	3.99	27.41	396.85	281.04					16.88	37.63
13	7.96	8.72	378.97	308.52	22.28	14.94	5.11	27.74	376.96	278.40					25.36	40.41
14	7.62	8.73	409.93	311.14	24.93	15.50	5.95	27.44	369.79	284.74					32.79	40.11
15	7.53	8.94	414.39	299.63	25.78	15.59	5.84	28.05	376.81	301.01					33.73	36.45
16	7.39	8.99	427.05	299.26	27.19	15.98	7.41	28.03	372.15	306.65					38.99	36.09
17	7.30	8.96	436.77	302.93	28.14	16.05	8.44	29.35	372.36	307.05					42.05	36.84
18	7.33	8.90	447.40	316.74	28.36	16.72	8.65	28.83	371.99	305.37					42.49	39.28
19	7.27	8.79	455.16	324.83	28.92	17.08	8.67	27.96	371.03	301.99					43.70	40.52
20	7.27	8.81	459.42	330.24	29.59	17.52	8.84	29.14	371.64	301.80					44.63	41.68
21	7.33	8.74	465.07	341.57	30.52	18.85	10.46	28.08	362.08	306.53					48.16	43.17
22	7.34	8.75	465.55	340.33	30.38	18.74	10.44	28.26	361.78	312.90					48.29	42.45
23	7.34	8.80	464.31	336.47	30.31	18.41	10.19	27.38	363.86	311.79					47.29	41.12
24	7.32	8.80	466.52	336.18	30.14	18.69	9.89	27.88	365.45	314.05					47.20	41.80
25	7.32	8.84	465.36	332.13	30.55	18.19	9.67	27.87	364.72	315.58					47.16	40.16
26	7.40	8.83	463.90	334.25	29.93	18.51	9.62	27.72	364.44	312.23					45.34	41.05
27	7.46	8.91	460.34	331.09	29.99	18.31	9.60	27.35	365.72	317.65					45.35	39.16
28	7.48	8.95	456.47	327.11	29.74	18.25	9.54	26.50	371.69	317.99					43.92	38.10
29	7.54	8.92	449.95	330.79	29.57	18.41	9.37	27.69	373.01	319.30					42.50	39.30

平成元年度 体力・運動能力調査報告書(文部省体育局)より作成

(注) 1. 10,11歳の得点基準は他と異なる。  
2. 男女の得点基準は異なる。

# 育ちざかりの ひと粒!



体力をつけ健康を保つ

歯・骨を丈夫に……

## カワイ肝油ドロップ



**河合製薬株式会社**

東京都中野区新井 2-51-8